

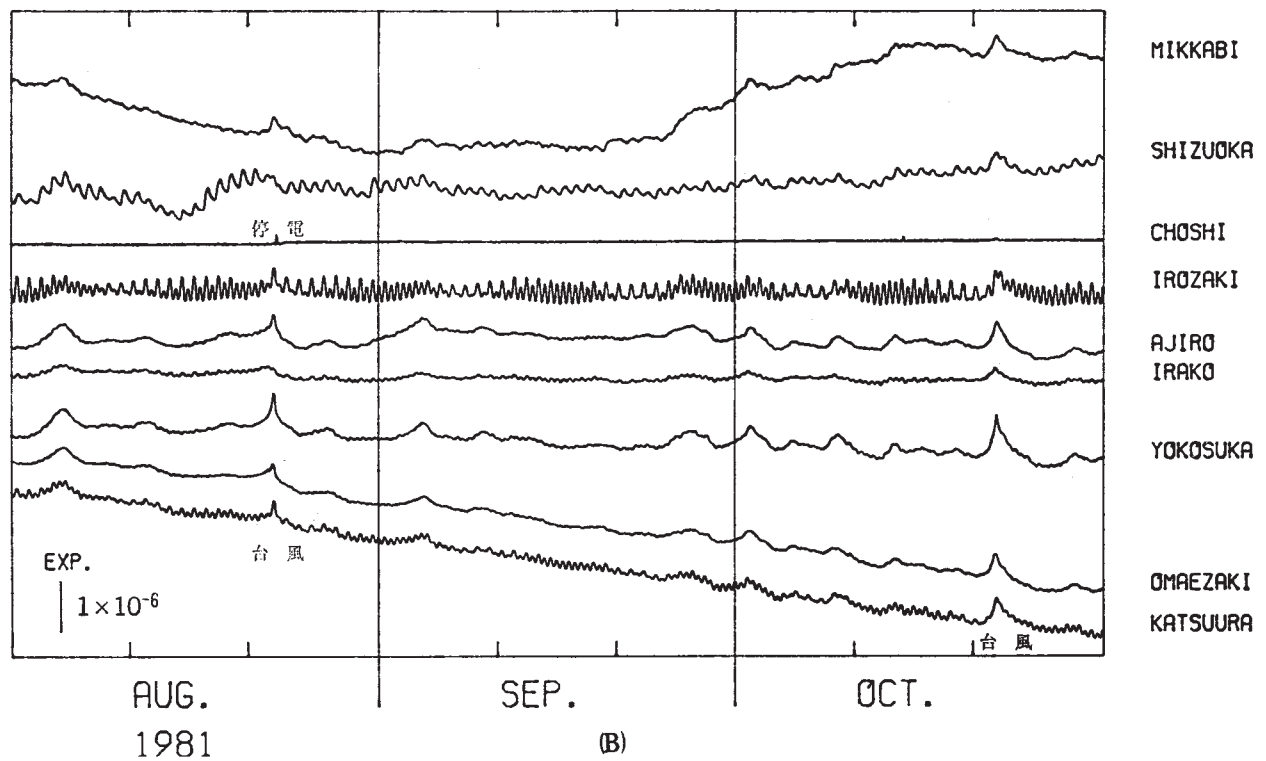
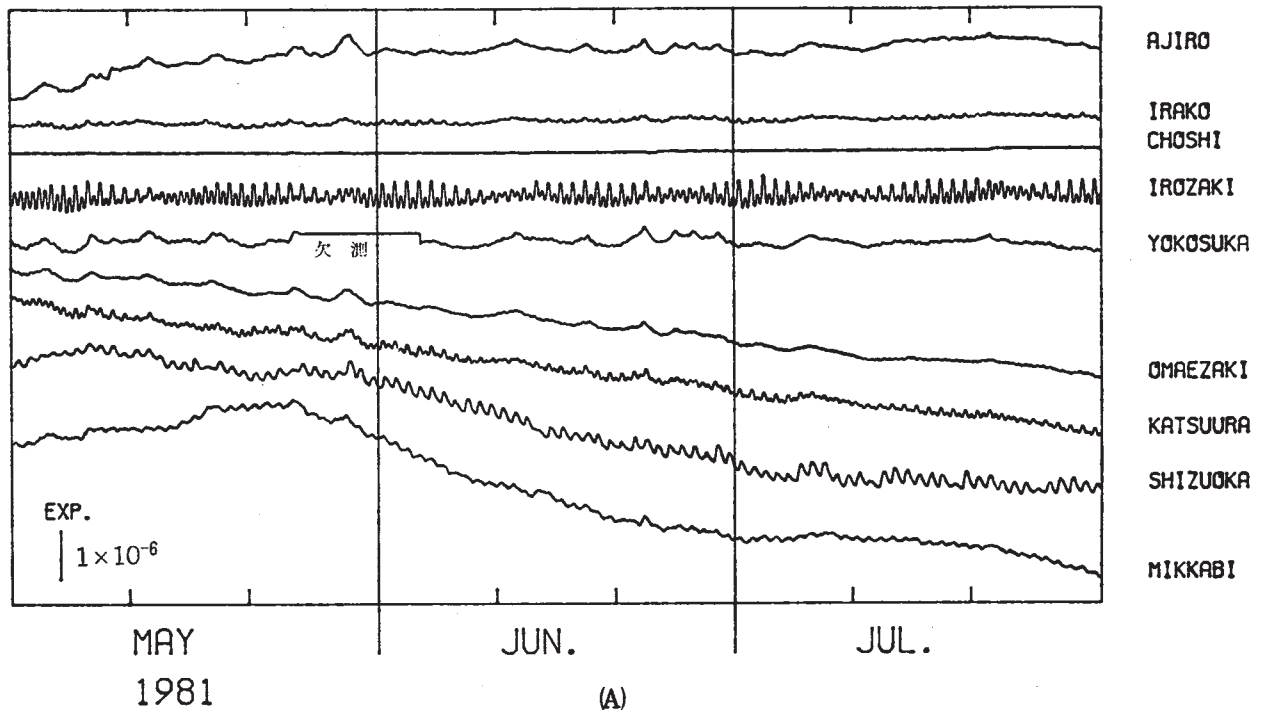
### 3 - 10 南関東・東海地域における歪観測結果

#### Observation of Crustal Strains by Borehole Strainmeters in the Kanto and Tokai Districts

気象庁地震課 地震予知情報室  
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

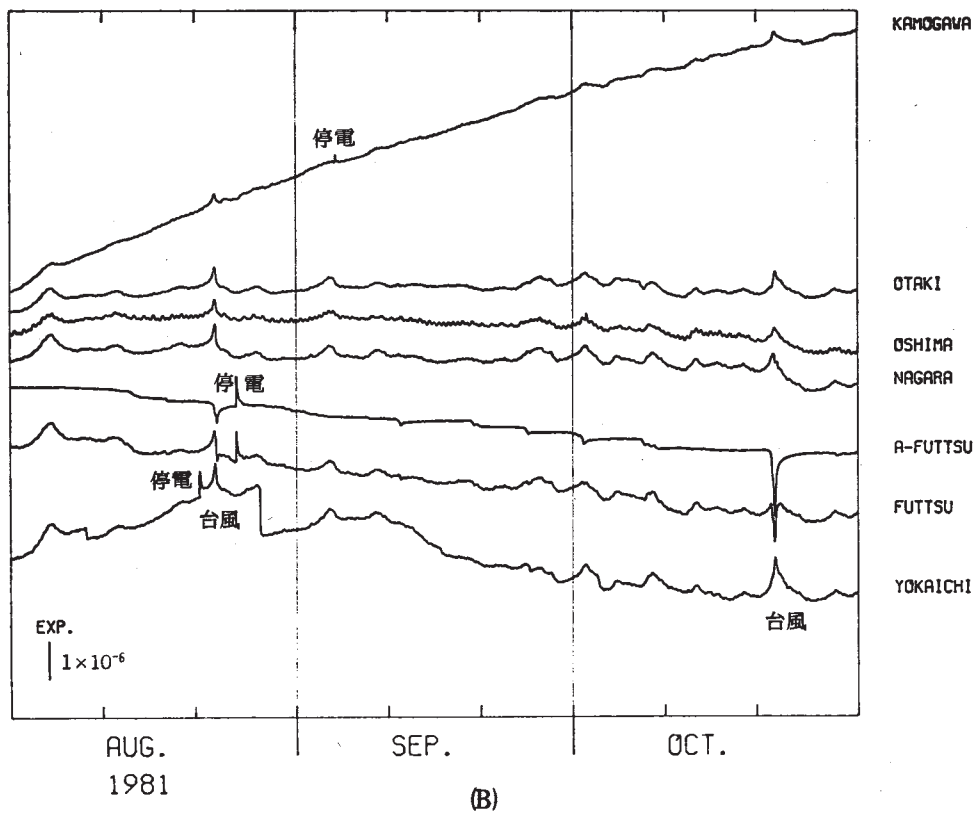
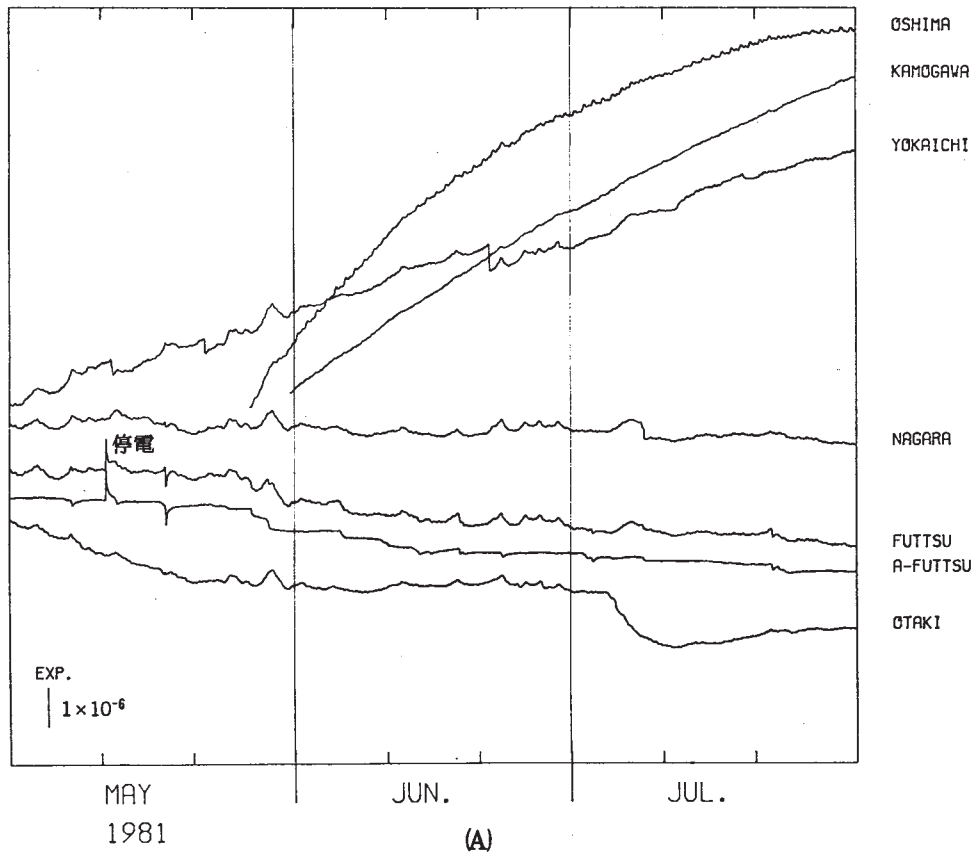
第1図から第4図までは、それぞれ南関東・東海地域（50, 51年度設置分）、南関東地域（55年度設置分）、南関東・東海地域（54, 55年度設置分）および東海地域（54年度設置分）の埋込式体積歪計による最近6ヶ月間の歪変化（毎時値）である。図の中で地点名の前にAを付したものは気圧補正を施した値である。各観測点で8月22～23日の台風15号、10月22日～23日の台風24号通過による気圧変化が現れている。第2図(B)の富津における縮み変化は大量の降雨（館山で22日から23日にかけて153ミリ）によるものと思われる。同じ図の八日市場で8月28日にステップ状の縮みの異常変化があり、5日後の9月2日に茨城県沖にマグニチュード5.8の地震があった。

第5図から第7図までは各観測点における日平均値の変化図である。大島では歪計埋設後の地中温度の変化により伸びの変化を続けてきたが、8月ころから温度の変化量が小さくなるとともに歪変化も小さくなり、最近ではやや縮みの方向へ変ってきた。（歪計配置については会報第26巻参照）



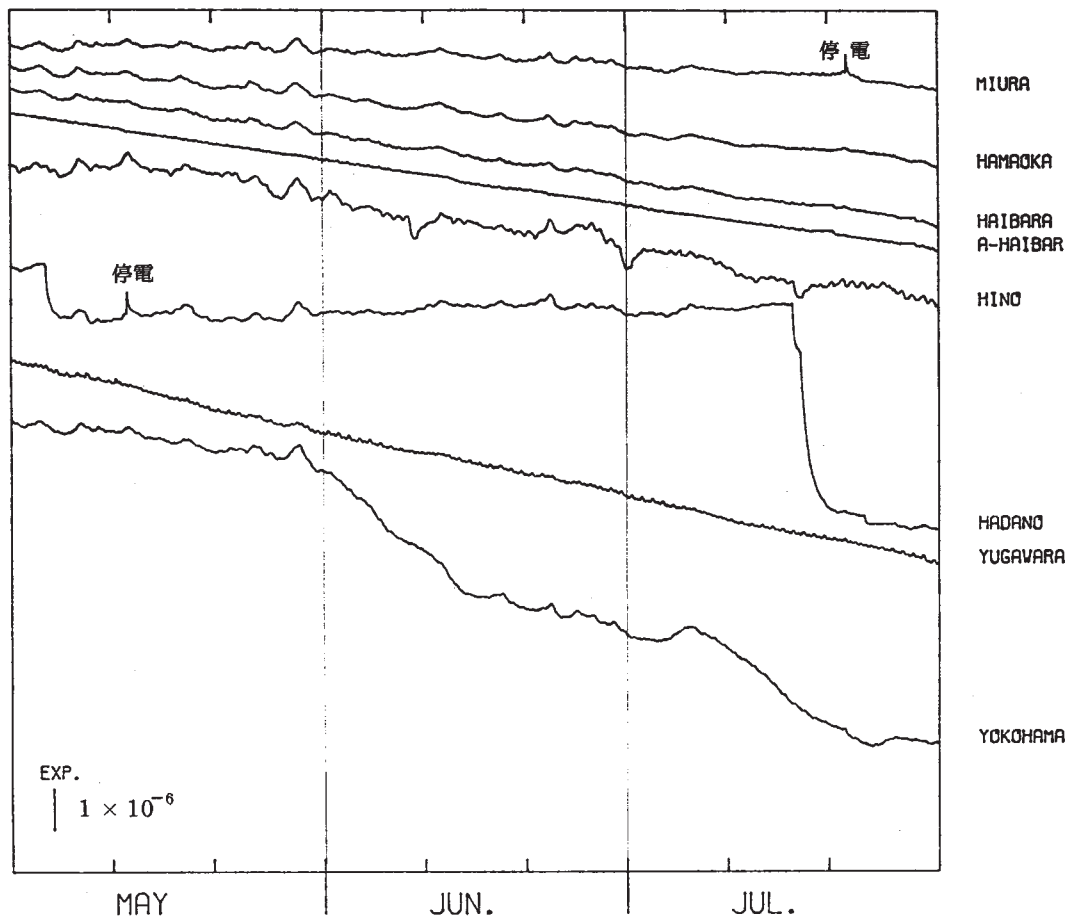
第1図 南関東・東海地域の埋込式歪計による歪変化（毎時値）

Fig. 1 (A) and (B) Variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto and Tokai Districts (hourly values).

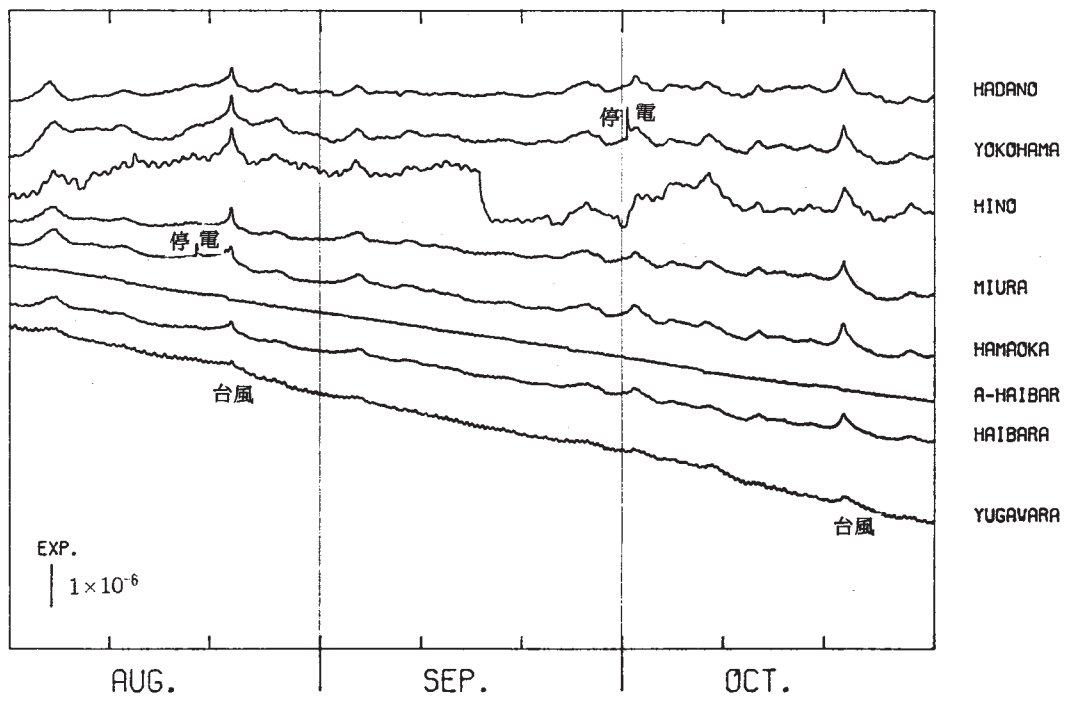


第 2 図 南関東地域の埋設歪計による歪変化 (毎時値)

Fig. 2 (A) and (B) Variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto District (hourly values).



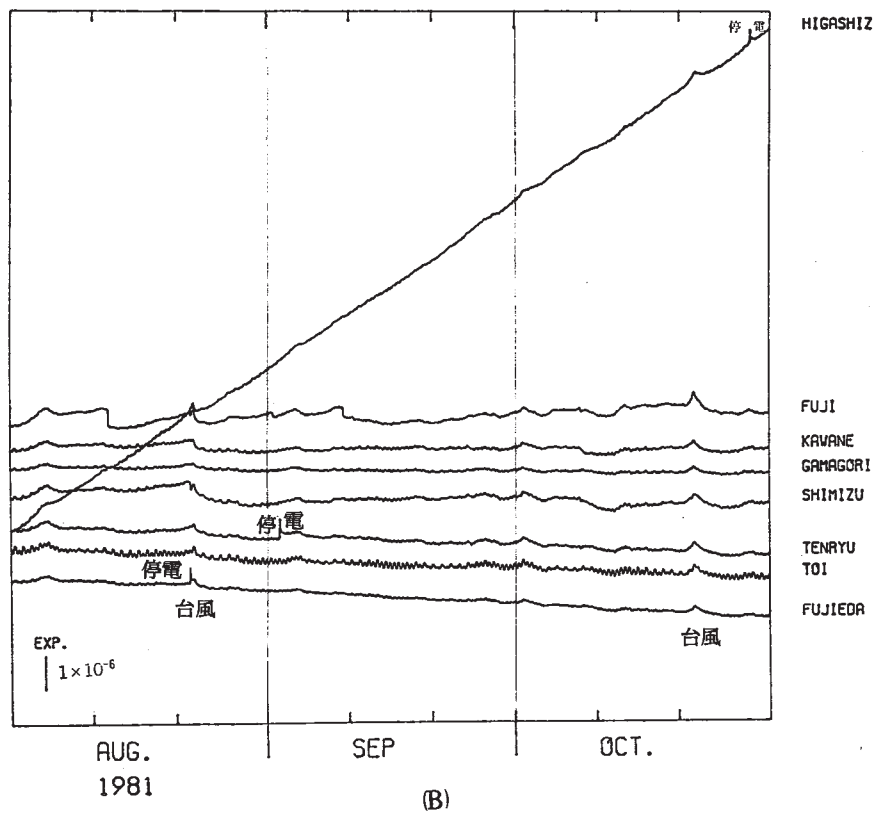
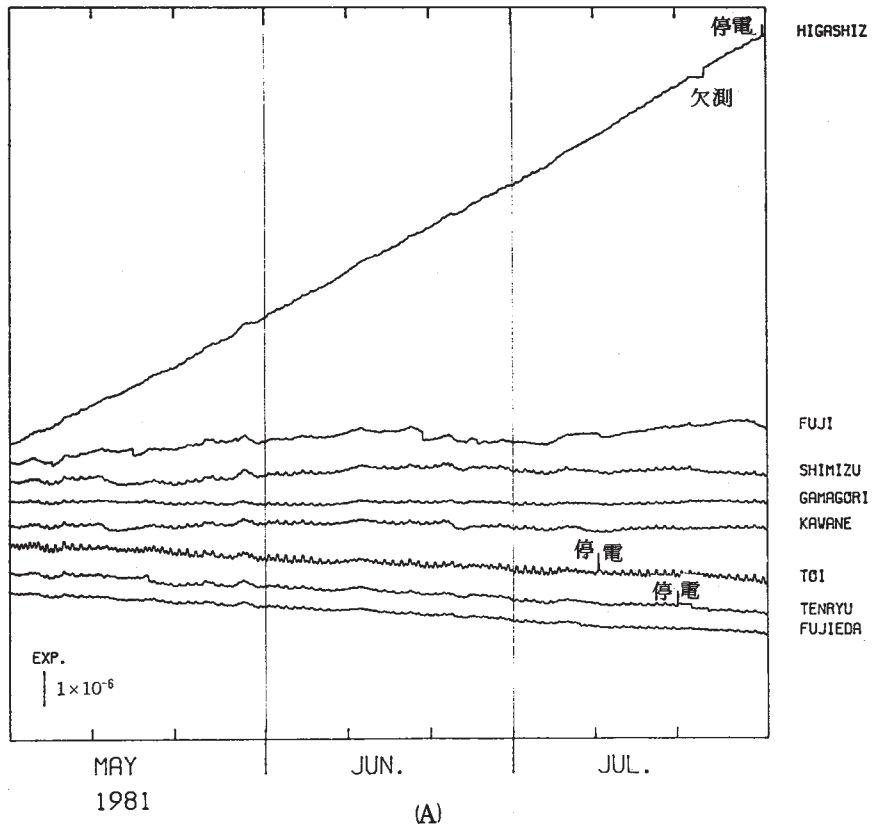
(A)



(B)

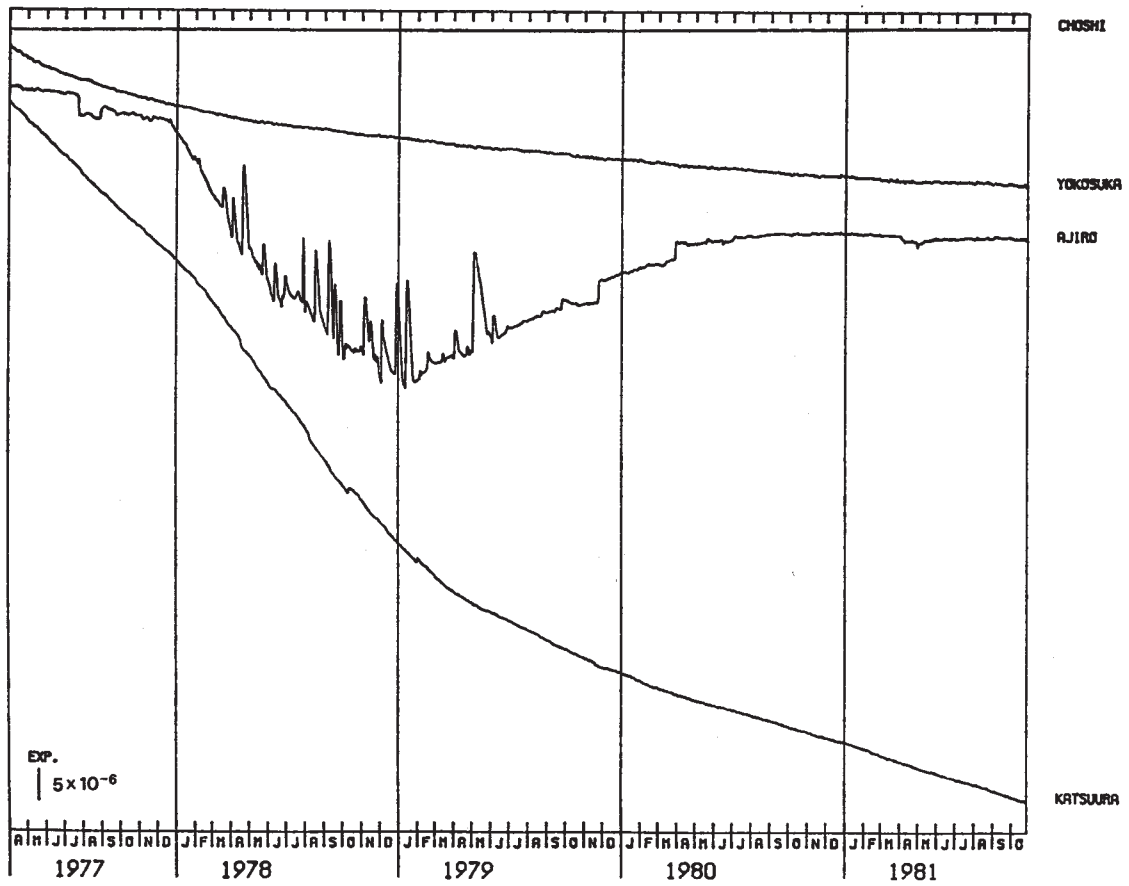
第3図 南関東・東海地域の埋込式歪計による歪変化(毎時値)

Fig. 3 (A) and (B) Variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto and Tokai Districts (hourly values).



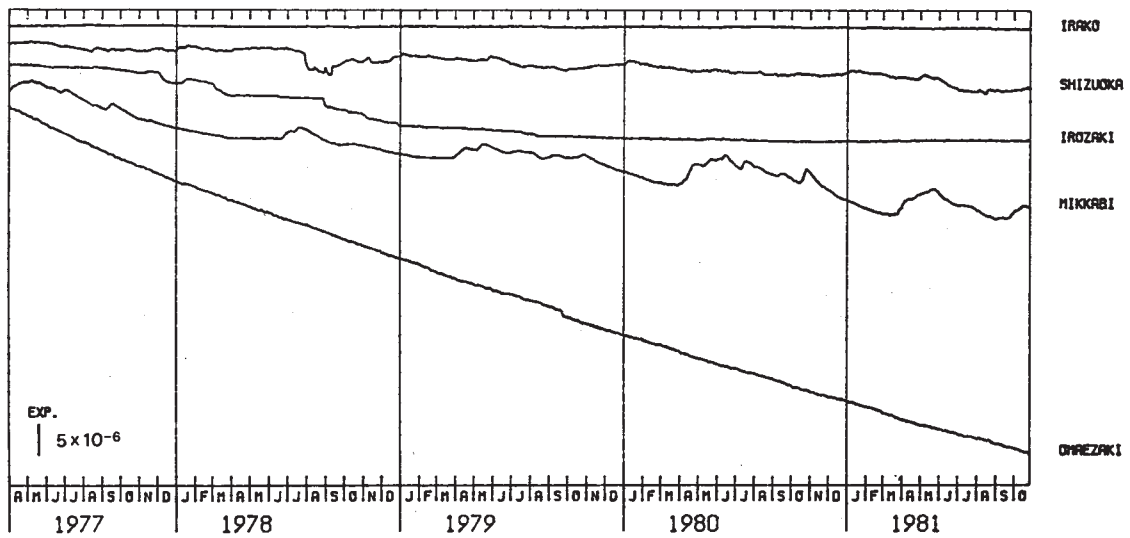
第4図 東海地域の埋込式歪計による歪変化（毎時値）

Fig. 4 (A) and (B) Variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Tokai District (hourly values).



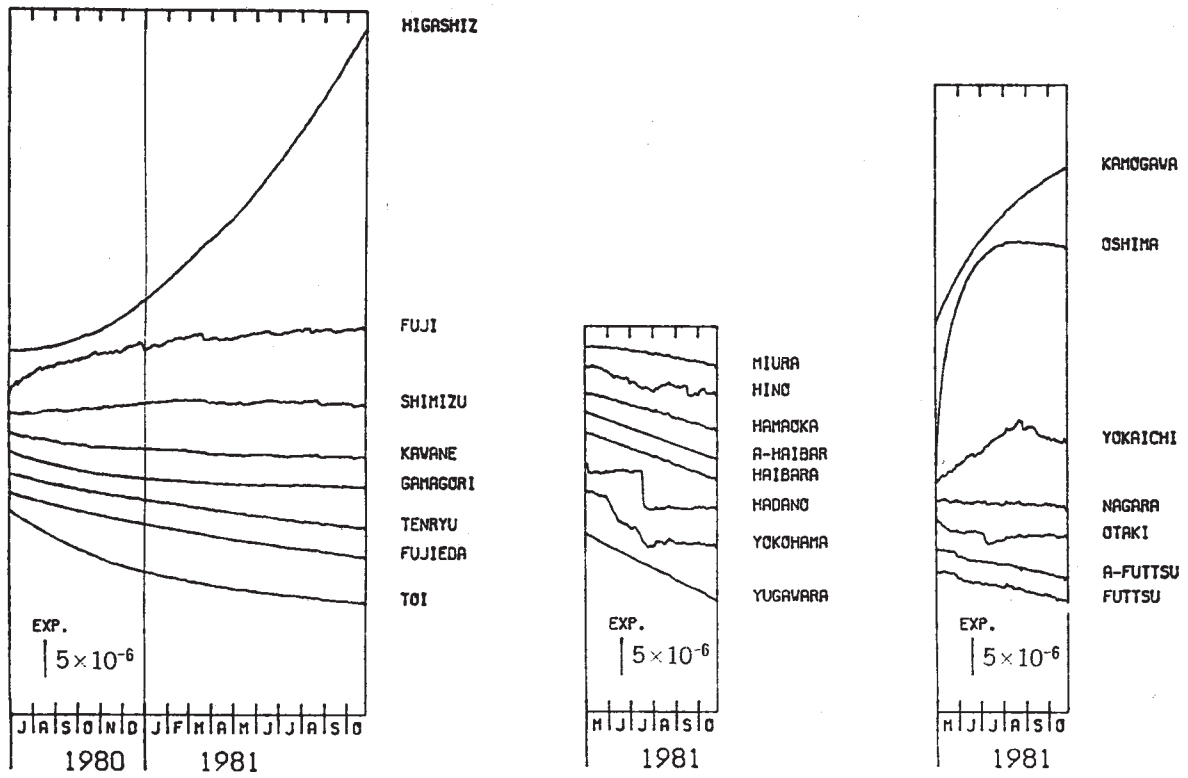
第5図 南関東地域の埋込式歪計による歪変化（日平均値）

Fig. 5 Secular variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto District (daily mean values).



第6図 東海地域の埋込式歪計による歪変化（日平均値）

Fig. 6 Secular variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Tokai District (daily mean values).



第7図 南関東・東海地域の埋込式歪計による歪変化（日平均値）

Fig. 7 Secular variation of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto and Tokai Districts (daily mean values).